



活動の「ひとつ」が思い
 「近所の仲良しグループで、ことある毎に集まってお茶をしながら談笑していました。ある日、この出合いもこの地域でいてたおかげなので、何か地域貢献できないものかといった話になり、平成2年より資源ごみ回収を始めたのがきっかけです。懐かしむ表情で「コスモス会結成の由来を話す田邊さん。」

地域愛が活力の源

最後に、これからボランティアを始められる方へアドバイスをお聞きました。「ボランティアを始めるのは自分の意志。やるからには楽しく充実した気持ちを持てる

きたと言います。「みんなできるんなことに取り組ませてもらうって、その「ひとつ」が思いに残っています。」

地域に感謝の気持ち
 現在、毎月第3日曜日に資源ごみ回収の活動をしているコスモス会。始めた当初は一軒一軒回収に回っていました。が、地道な活動が地域に浸透し、現在は、近所から持ち運んでくれるとのこと。

「今の活動も地域の協力があればこそ。本当に地域に、みんなに感謝の気持ちでいっぱい。資源ごみ回収で得たお金は、地域皆さんのお金。少しでも地域のお役に立つことができるといい思いで、全て自治会や小・中学校に渡らせていただきます。」



昨年、資源ごみ回収の収益を保田小へ寄付されました。保田小では図書室の充実のために寄付金全額を本の購入に充てています。

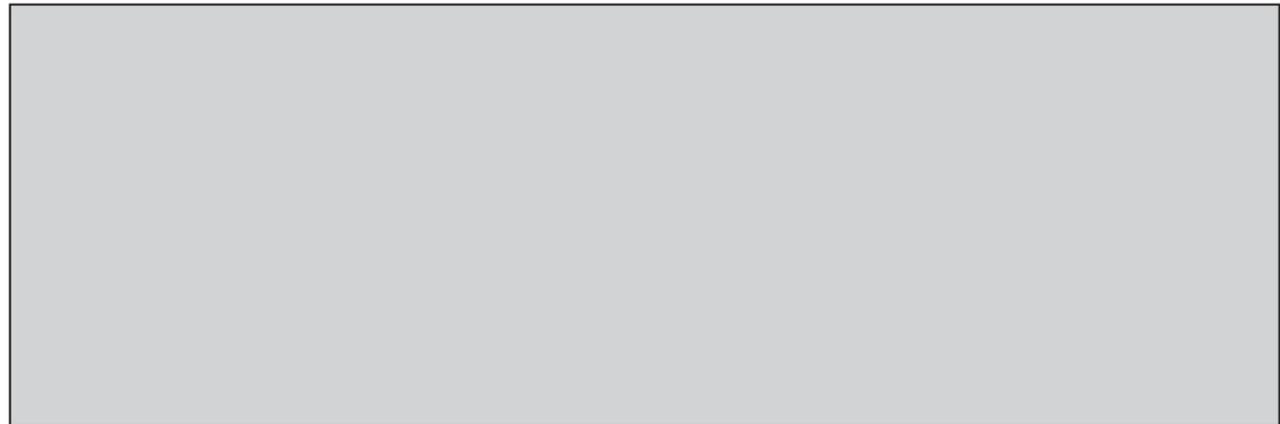
かどうかが継続できるかどうかにつながると思います。やってみると、周りから感謝の気持ちなど声をかけてもらうこともあり、その時は本当にうれしく、これからの生きるエネルギーになります。何をするにしても第1歩を踏み出すことで次に繋がります。共にがんばっていきましょう！」

「コスモス会の活動をインタビューする時、常に笑顔で受け答えをしてくれた田邊さん。コスモス会の皆さんも素敵な笑顔で活動されていることが、田邊さんの笑顔を通して伝わってきました。」

コスモス会
 平成2年結成、会員19名
 これまでの活動が評価され、和歌山県社会福祉協議会、有田市社会福祉協議会より表彰されている。

—あなたが見た「まちの誇り」をお聞かせください—
 本市では、意外と知られていない名所や史跡、地道な活動をされている人など、まちの誇りとなりうる情報を募集しています。
 ■連絡先／〒649-0392 有田市箕島 50 有田市役所秘書広報課 TEL／0737-83-1111 E-Mail／hisho@city.arida.lg.jp

広告



市民アイ

ボランティアグループ
コスモス会

代表者 **田邊 定子** さん

辻堂を拠点に資源ごみ回収のボランティアをし、5月1日には市功労者表彰式において善行表彰を受賞されたコスモス会。代表の田邊さんに、結成の由来や活動への思いなどを聞きました。

観光ストリート Vol.4 仁平寺



今回紹介するのは、有田の「アジサイ寺」こと、仁平寺です。境内に約1,000株が植えられているアジサイは、5月下旬より咲き始め、毎年6月中旬が見頃です。また、この時期には市外、県外から来られる方も多く、毎年推定8,000人の見物客で賑わいます。

皆さん是非この機会に足を運んで、いろんな色、形、七変化するアジサイをご覧になりませんか？きっとさわやかな気分になりますよ！



仁平寺の由来

創建当時、真砂山真砂寺と称され、寺の主要な七つの堂がそろった大きな寺であったと伝えられています。その後、真砂寺は焼失してしましますが、仁平年間（1151～1153年）に再興されます。この時、朝廷への功が認められ年号をいただき仁平寺と名乗るようになったという由来があります。

また、先月号で紹介した中将姫を保護養育した伊藤春時夫妻がこの寺で剃髪出家したと伝えられています。

アジサイの他にも見頃がいっぱい

現在、仁平寺は無住ですが、仁平寺世話人会の皆さんが境内の管理をしてくれています。

アジサイ以外にも、春は桜、4月下旬には白藤、秋には萩が咲き誇り、来る人を魅了します。また、境内入口右手には「仁平松」と呼ばれる松があり、枝がものすごく長く、その長さなんと16mにもなります。



アジサイの由来

アジサイの名は、アズサイという言葉が変化して生まれたとされる説が有力となっています。集まるという意味の「あず」、「藍」に接頭語の「さ」がついた「さ藍」から「さい」となり、青い花が集まって咲くという意味を表しています。

アジサイは漢字で「紫陽花」と表しますが、これは中国の白楽天の詩にあった違う植物の「紫陽花」を当てたという説があります。

有田川
 ●のほら小児科 ●
 ●貼茶屋
 ●真砂会館
仁平寺 仁平寺系我町西 191
 問 市役所産業振興課
 TEL.83-1111 (内線275)

広告

